

「広島 A I ラボ」の活動開始について

1 要旨・目的

A I のポテンシャルを十二分に引き出し、地域課題の解決と付加価値の創出を図るため、総務局 D X 審議官内に、A I の活用方法の探索を行う職員を専任で配置し、「広島 A I ラボ」として探索・研究を実施する。

2 現状・背景

A I は急速に進展しており、社会を大きく変革する可能性を有しているものの、特に行政において、目まぐるしく変化する技術に十分に対応できておらず、A I の活用方法を模索している状況である。

こうした中、本県においても、これまで様々なデジタル技術を活用し、行政サービスの向上や業務効率化を図っているところであるが、A I、特に、進展著しい生成 A I を積極的に活用し、新しい価値を生み出すようなアイデアを創出するため、A I やデータの活用について探索・研究を進めていく。

3 概要

(1) 配置先

総務局 D X 審議官内に配置（※ D X 審議官の指揮のもと活動を行う）

(2) 活動内容

① 業務内容

A I を導入するだけでなく、市内の文化や風土を変え、新しい価値を創出するための A I 活用方策を探索・研究

② 構成等

県職員 2 名及び外部人材

※外部人材は今後専門知識を有する者を募集予定（3 名程度）

【特色】

- ・関係団体等へのヒアリング等を通じて、構成員自らテーマを設定する
- ・各構成員がテーマに基づき、自由に探索・研究する
- ・各構成員が自ら探索の「方向性」や「レベル感」を設定する

(3) 活動開始時期

令和 6 年 9 月 10 日（火）